

鹿児島県看護協会

会長
八田冷子様

医療の最前線で働く看護師“27歳でがんを患ったゆずなさん”のドキュメンタリー映画「ケアを紡いで」がマルヤガーデンズシネマで7月8日（土）9日（日）に上映されることになりました。

現代社会のケアの営みと制度のありようを見つめてきた大宮浩一監督に、看護師のゆずなさん自身が映画を企画提案し映画化となりました。

娘が東京の試写会で観ましたが、温かい涙が溢れたそうです。私も医療従事者の一人として観ようと思います。

患者さんの為に日々奮闘しておられる看護部の皆様にぜひ観て頂きたいと思います。

令和5年6月27日 霧島整形外科病院 循環器内科

中尾正一郎

現代社会のケアの営みと制度を見つめる大宮浩一監督が医療の最前線で働いていた“27歳でがんを患った看護師ゆずなさん”をドキュメンタリー映画化

また現在、健康的な給食を目指す保育園の映画の一場面として“無塩無糖食”も撮影進行中です。

南日本新聞

2022年(令和4年)10月4日

霧島の医師提唱、22年間実践

霧島市の医師、中尾正一郎さん(75)が22年間実践する「無塩無糖食」が、ドキュメンタリー映画で取り上げられることになった。映画は「夜間もやってる保育園」=2017年、大宮浩一監督(64)一の続編。健康的な給食を目指す保育園の理事長が、中尾さんの講演を聞いて共感したことから、映画の一場面で使われる。



中尾正一郎さん

全国でも珍しい24時間体制の認可保育園「エイビイシイ保育園」(東京都新宿区)の片野仁志理事長(65)が製作を主導し、大宮監督が再びメガホンを取る。9月下旬、映画スタッフ



管理栄養士に無塩無糖食についてインタビューする大宮浩一監督
=霧島市牧園のおりはし旅館

無塩無糖食映画素材に

監督ら取材 健康的な生活テーマ

調理や保育園関係者が視察する様子を撮影した。循環器内科専門医の中尾さんは、単身赴任中に調味料を使わず野菜を炒めてみたところ、おいしい上に「体が落ち着く感じがした」体験を機に無塩無糖に移行。次第に塩味の強い外食が食べられなくなった。おりはし旅館で会食の際「無塩無糖で作って」と頼んだことが、旅館の正式メニュー化につながった。

大宮監督らは旅館の柳田国宏総料理長(58)や鎌田善政社長(67)らにインタビューし、夜は無塩無糖の懐石料理を試食。調味料を使わず地元食材のおいしさを引き出した料理の数々に、「一同は「おいしい」「本当に塩を使っていないの？」などと驚いていた。

保育園の片野理事長は、高血圧などの生活習慣病が若年化している現状を踏まえ、「幼少期から健康的な食生活を送ることの大切さを多くの人に伝えたい」と映画化の意気込みを話した。今後1年かけて中尾さんの活動や複数の夜間保育園独自の取り組みを取材し、作品に仕上げる。

(有田佳織)